

〔Daily 日本史〕 ～原始総合～

【問】 2002 年 青山学院大学 法

次の問題文について問に答えなさい。

- (1) 人類の誕生は今から 400 万年前頃と推定されている。日本列島での人類の存在は旧石器時代の寒冷な氷河時代、海面が 100m 以上も現在より低く、アジア大陸と陸続きになっていた時、大型の獣を追いかけていた人類も一緒に列島に到達したと推定されている。
- 人類の進化の過程は化石人骨の研究から猿人、(1), (2), 新人の順に進化したと考えられている。
- (2) 第2次世界大戦以前、日本列島には旧石器時代に人類は生活していなかったと考えられていたが、1949 年(昭和 24)年、相沢忠洋により群馬県新田郡で(あ)遺跡が発見され、それ以降旧石器時代の研究が進んだ。また旧石器時代の終末期に東北アジアで発達した小型の(い)も列島の各地で発見されている。
- (3) 縄文時代はおおよそ 1 万 2000 年前から始まったと考えられている。この時代になると気温の上昇とともに海面も上昇し、日本列島はアジア大陸と切りはなされ、現在に近い自然環境になる。縄文時代の生活の特徴は煮炊や貯蔵に深くかかわったとされる(3)や狩猟用具の(う)があらわれることである。また人々の多くは半地下式の(4)に住んでいた。
- (4) 弥生時代は紀元前 4 世紀頃から始まるといわれている。その特徴の 1 つは北部九州を中心に水稻耕作が始まり、日本列島に急速に広がったことである。この稲の収穫には一般的に穂首刈りに(え)が使用され、刈り取られた稲穂は湿気やネズミの害を避けるため(5)に収納された。
- (5) 弥生時代は集落の周辺に共同の墓がつくられるようになる。北部九州では土器で作られた(お)や朝鮮半島との関係が指摘される(6)があらわれる。墓の中には多数の(か)をもつものがあるが、集落の中に身分差があらわれたことがわかる。
- (6) 3 世紀の後半から高塚式の大型古墳が瀬戸内海沿岸から畿内にかけてつくられ始める。古墳にはさまざまな形があるが巨大古墳は(7)が多い。古墳の上にはさまざまな埴輪が置かれるが、これらは器物を模した(き)埴輪と(く)埴輪の 2 種類に大別できる。

問 1 問題文中の(1)から(7)までに適切な語句を補いなさい。ただし、解答欄に指定された字数の漢字で答えなさい。

問 2 問題文中の(あ)から(く)に最も適当な語を以下の語群から選びなさい。

語 群

- | | | | |
|----------|----------|-----------|---------|
| (ア) 岩 宿 | (イ) 新石器 | (ウ) 方形周溝墓 | (エ) 鋤 |
| (オ) 三内丸山 | (カ) 磨製石斧 | (キ) 吹 矢 | (ク) 土坑墓 |
| (ケ) 抽 象 | (コ) 小 刀 | (サ) 宝 石 | (シ) 動 物 |
| (ス) 石 錘 | (セ) 甕棺墓 | (ソ) 副葬品 | (タ) 横 穴 |
| (チ) 円 筒 | (ツ) 石包丁 | (テ) 打製石斧 | (ト) 家 形 |
| (ナ) 座散乱木 | (ニ) 石 鏃 | (ヌ) 形 象 | (ネ) 鎌 |
| (ノ) 細石器 | (ハ) 石 匙 | (ヒ) 掘立柱建物 | (フ) 金 貨 |

【解答】

問 1 1 原人 2 旧人 3 縄文土器 4 竪穴住居

5 高床倉庫 6 支石墓 7 前方後円墳

問2 あ (ア) い (イ) う (ニ) え (ツ)

お (セ) か (ソ) き (ヌ) く (チ)